

RSW-040 Realtime FL-net(OPCN2) Protocol Service Release Notes

Version 5.1 Released: 2017/3/6

- リアルタイムカーネルのバージョンを 6.1.17004 に更新しました。
- Version 5.0 にて行ったコモンメモリ設定・参照 API(以下 API)のサイズ単位修正を破棄し、4.1 相当に戻しました:
※FLdotNET と FLWIN の間で相違があります:
FLdotNET.dll/FLdotNET64.dll
 - FL_set_My_Common_data1 の書き込みデータサイズ(引数 size) WORD 単位
 - FL_get_My_Common_data2 の取得サイズ(引数 size) : BYTE 単位
 - FL_get_Common_data2 の取得サイズ(引数 size) : BYTE 単位FLWIN32.dll
 - FL_set_My_Common_data1 の書き込みデータサイズ(引数 size) WORD 単位
 - FL_get_My_Common_data2 の取得サイズ(引数 size) : BYTE 単位
 - FL_get_Common_data2 の取得サイズ(引数 size) : WORD 単位
- ネットワークデバイス設定ツール(INpass)を更新しました。(NIC リストを 6.1.17004 版に更新)

Version 5.0 Released: 2016/10/13

- リアルタイムカーネルのバージョンを 6.1.16195 に更新しました。
- Windows 10 に対応しました。
- API に FL_close を追加しました。(アンマネージド用 DLL とマネージド用 DLL の両方に追加)
※マネージドコード(.NET)において、FL_init に対する解放用の API がいないため、プロセスが終了できない問題がありました。FL_close を追加し、適切に終了処理をおこなうよう対応しました。
- ドライバの以下の不具合を修正しました。
 - 通信相手から ACK 異常時にメッセージが再送されない不具合を修正しました。(上位アプリケーションにもイベント通知がされない問題)
 - リンクイン時に通番がクリアされていない不具合を修正しました。
- コモンメモリ設定・参照 API(以下 API)にてサイズ単位を適切な単位に修正しました。
※本修正により、旧バージョンとの API の互換性がなくなっております。
 - FL_set_My_Common_data1 の書き込みデータサイズ(引数 size) : WORD 単位 → BYTE 単位 に修正
 - FL_get_My_Common_data2 の取得サイズ(引数 size) : BYTE 単位 → WORD 単位 に修正
 - FL_get_Common_data2 の取得サイズ(引数 size) : BYTE 単位 → WORD 単位 に修正
- ネットワークデバイス設定ツール(INpass)を更新しました。(NIC リストを 6.1.16195 版に更新)
- マニュアルを「セットアップマニュアル」と「API リファレンスマニュアル」に分けて刷新しました。
- インストーラが変わりました。(スクリプトファイルから起動する方式に変更)

Version 4.1B Released: 2016/06/01

- インストーラ(RSW040.exe)を英語版 OS にも対応しました。
- ネットワークデバイス設定ツール(INpass)を更新しました。(INpass v3.0)

Version 4.1 Released: 2014/12/10

- アンマネージド用 DLL に 64bit 版(FLWIN64.dll)を追加しました。
- アンマネージド用サンプルプログラムに 64bit 版(sample64.exe)を追加しました。
- ヘッダーファイル(WinFLAPI.h)に定義している構造体のアライメントを 1 バイトに強制するよう修正しました。

Version 4.0 Released: 2014/12/01

- リアルタイムカーネルのバージョンを 5.2.14234 に更新しました。
- Windows 8 に対応しました。

Version 3.1 Released: 2014/10/22

- FL_SetCallBack にて透過メッセージを指定したときに、透過メッセージ受信イベントが上がってこない不具合を修正しました。

Version 3.0 Released: 2013/05/24

- リアルタイムカーネルのバージョンを 4.2.11343 に更新しました。
- リアルタイムカーネルのインストールを簡略化しました。
 - ライセンスコード自動入力
 - VEther のインストール無効化
 - Configuration 内ドライバの有効自動設定 (レジストリ)
 - ネットワークデバイス設定ツール (INpass) 導入
 - INI ファイル設定ツール導入
- マニュアルの以下の点を見直しました。
 - Windows ユーザーメインとした見直し
 - 各設定ツール導入による運用変更に伴う見直し
 - 自動化、無効化に伴う操作不要部の更新

Version 1.0 ~ 2.7

- 累積的な問題を修正しました。
- 新しいネットワークスタック(Network7)に対応しました。(使用できる NIC の増強)